
臨床法学教育学会

— 2010年度学会活動の概要 —

2010年4月1日～2011年3月31日

臨床法学教育学会事務局

臨床法学教育学会の学術活動として、4月26日に、一橋大学において第3回年次大会を開催した。その内容は、学会機関誌『法曹養成と臨床教育』第3号（2010年11月刊行）に掲載している。また、日本学術振興会科学研究費臨床法学グループとセミナー10件およびシンポジウム2件を共催した。学会事項としては、会員総会、理事会、及び委員会の記録を掲載する。

(1) 第3回年次大会

大会テーマ：「臨床教育による『社会の医師』としての法曹の養成」

部会A「新人法曹からみた臨床教育と司法修習」

部会B「法科大学院における模擬裁判教育」

全体会シンポジウム「臨床教育による『社会の医師』としての法曹の養成」

1. 「臨床教育と法曹の社会的使命の教育」／2. 「面接・交渉・裁判外紛争処理手続（ADR）と臨床教育」／3. 「臨床教育における依頼者とのコミュニケーション力の教育—多様な依頼者への感受性と臨床」／4. 「法科大学院の学術環境における臨床法学教育の役割」

(2) セミナーとシンポジウムの共催

(A) セミナー「ワシントン大学ロースクールにおけるChild Advocacy Clinic」

月日・場所：4月7日・早稲田大学8号館

講師：Lisa Kelly (Professor of Law, University of Washington School of Law)

通訳：後藤弘子（千葉大学）

(B) シンポジウム「東アジアにおける法曹養成と臨床法学教育—日中韓の制度改革とその課題—」

月日・場所：4月24日・早稲田大学8号館

論題・講師：「中国における法曹養成と臨床法学教育」王晨光(清華大学)／「韓国における法曹養成と臨床法学教育」文在完(韓国外国語大学校)／「日本における法曹養成と臨床法学教育」棚村政行(早稲田大学)／パネル・ディスカッション：「東アジア諸国の法文化と臨床法学教育—日中韓の課題の共通性と相違点—」パネリスト：丁相順(中国人民大学)、王晨光、尹南根(高麗大学校)、文在完、棚村政行；司会：宮川成雄(早稲田大学)

(C) シンポジウム「動き出した法曹養成と医師養成の連携—臨床方法論による専門職教育の課題—」

月日・場所：5月22日・早稲田大学8号館

論題・講師：「医学部において臨床実習の早期導入に至った経緯とその現状」志村俊郎(日本医科大学)／コメント：山中至(熊本大学)／「実務実習(臨床実習)のための準備教育と実務実

習での学習効果-共用試験が目指すもの」福島統（東京慈恵会医科大学教授）／コメント：井藤公量（岡山大学）／「法科大学院教育における模擬依頼者の活用と養成」亀井尚也（関西学院大学）／コメント：志村俊郎／「医学生の実習と侵襲性による医療行為の種別」田邊政裕（千葉大学）／コメント：甲斐克則（早稲田大学）／「弁護士の「履行補助者」としての法科大学院生の活動の許容範囲：学生実務規則のない現状において」萩原猛（大宮法科大学院大学）／コメント：宮下次廣（日本医科大学）

(D) セミナー「ロヨラ大学ニューオリンズ・ロースクールにおける移民・難民法クリニック」
日時・場所：5月28日・場所：早稲田大学8号館
講師：楠田弘子（ロヨラ大学ニューオリンズ・ロースクール助教授）

(E) セミナー「アメリカ法科大学院協会臨床法学大会参加報告」
月日・場所：6月26日・早稲田大学8号館
講師：宮川成雄（早稲田大学）、角田雄彦（白鷗大学）、辻雄一郎（駿河台大学）

(F) セミナー「国際臨床法学教育ジャーナル研究大会の参加報告」
月日・場所：7月31日・早稲田大学8号館
講師：後藤弘子（千葉大学）

(G) セミナー「リーガルクリニックと司法アクセス」
月日・場所：10月16日（土）・早稲田大学8号館
講師：藤井靖志（法テラス東京法律事務所・弁護士）

(H) セミナー「新司法修習と東京弁護士会の取組み」
月日・場所：10月18日（月）・早稲田大学8号館
講師：卜部忠史（東京弁護士会司法修習委員会委員長・弁護士）

(I) セミナー「早稲田大学障がい法クリニックの教育実践—北京人民大学での国際カンファレンスの経験を踏まえて—」
月日・場所：11月15日（月）・早稲田大学8号館
講師：菊池馨実（早稲田大学教授）
池原毅和（弁護士、早稲田大学客員研究員）

(J) セミナー「UCLA/ロンドン大学共催の臨床法学研究大会の参加報告」
月日・場所：12月11日（土）・早稲田大学8号館
講師：上柳敏郎（東京大学客員教授・弁護士）

(K) セミナー「いわゆるパーソナリティ障害のひととのあいだで起こること」
月日・場所：12月20日（月）・早稲田大学8号館
報告者：藤山直樹（国際精神分析学会（IPA）訓練精神分析家、上智大学教授）

(L) セミナー「加害者臨床と司法との関わりについて」
月日・場所：2011年1月31日（月）・早稲田大学8号館
講師：檜原広太（遠藤嗜癪問題相談室室長）

(3) 会員総会・理事会・委員会

(A) 理事会

月日・場所：4月25日・一橋大学マーキュリータワー

- ・道あゆみ理事の事務局長退任を了承し、後任に後藤弘子理事を選任した。
- ・次年度の第4回年次大会の会場校として関西学院大学を決定した。

(B) 機関誌編集委員会

月日・場所：4月25日・一橋大学マーキュリータワー

- ・「法曹養成と臨床教育」第3号の編集方針を確認した。

(C) 会員総会

月日・場所：4月25日・一橋大学マーキュリータワー

- ・2009年度決算および2010年度予算を承認した。

(D) 持ち回り理事会

5月21日付にて、「法曹養成制度の検討への臨床法学教育学会からの提言」（学会HPに掲載）を理事会決定し、法務大臣、文部科学大臣、および法曹養成制度に関する検討ワーキングチーム宛に提出した。

(E) 拡大研究企画委員会

月日・場所：6月26日・早稲田大学8号館

- ・第3回年次大会の総括を行った。
- ・第4回年次大会の企画を検討した。

(F) 拡大企画委員会

月日・場所：8月2日・早稲田大学8号館

- ・第4回年次大会の企画を検討した。

(G) 機関誌編集委員会

月日・場所：8月23日・早稲田大学8号館

- ・「法曹養成と臨床教育」第3号の校正稿を査読した。
- ・同号に掲載する臨床法学教育関係の文献リストを検討した。
- ・同号に掲載する書評候補文献を検討した。

(H) 拡大研究企画委員会

月日・場所：9月28日・青山学院大学3号館

- ・第4回年次大会の企画を検討した。

(I) 拡大研究企画委員会

月日・場所：11月13日・早稲田大学8号館

- ・第4回年次大会の企画を検討した。

(J) 2010年度秋理事会

月日・場所：11月13日・早稲田大学8号館

- ・第4回年次大会（2011年4月24日、関西学院大学）の概要を決定した。
- ・第5回年次大会（2012年4月）の開催校を青山学院大学と決定した。
- ・機関誌『法曹養成と臨床教育』第3号の完成と発送予定が報告された。

(K) 持ち回り理事会

2011年3月22日付けにて、学会員を対象に東日本大震災義援金の募金を2011年9月末日まで行うことを決定した。義援金は毎月末に、学会事務局において集計し寄託先として指定した朝日新聞厚生文化事業団に送金することとした。